校友時報

昭和57年7月21日
編集人兼発行所
秋田県能代市高瑞2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 ㈱大勝堂印刷

第23回能高祭
一応の成果収める

第23回の能高祭は、テーマ「LIBERTY」のもとに目立った準備の遅れもなく、6月25日から27日の3日間にわたって行われた。HRデコの低調など課題も残ったが総体的に見てまずまずの成功を収めた。

盛り上がった後夜祭
今後の課題はHRデコ

生徒会最大の行事である能高祭今年度は、六月二十五日～二十七日の三日間にわたって行われた。

六月二十五日午後一時、ブラスバンドのフルバンド演奏によるオープニングで、前夜祭が始まった。そのあと、恒例となったクラス対抗ダンス自慢が行われた。出演者の熱演、また奇抜な衣装などにより一時盛り上がりを見せたが、司会進行が体育館ぎみであったため、最高潮には達せずに終わった。

展示・催し物では、ライブハウス、おばけ屋敷、人形劇など、多種多様なHRデコが目についた。また、宇宙、懐昔堂など目新しい試みも見られ、好評を得ていた。しかし、HRデコ全般にわたって「能代高校らしさ」が感じられず反省すべき点が残った。クラブデコでは、今年も格闘技研究会がエキサイティングなショーを披露し人気の的となっていた。

六月二十七日、あいにくの雨天のため、第一体育館で、能高祭の閉幕した。

なお、各部門の成績は次のとおりである。

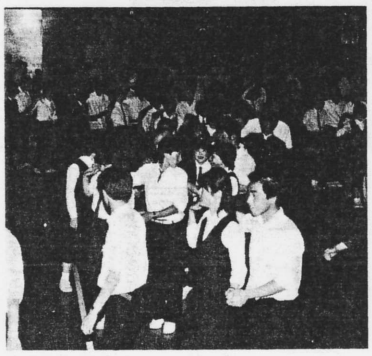
〈総合〉
最優秀賞　三A
優秀賞　三F
　　二D

〈HRデコ〉
最優秀賞　一D「宇宙」
優秀賞　一E「人形劇」
　　三C「3C劇場」

〈部新聞〉
最優秀賞　三A「多摩聞坂」
優秀賞　三E「雑加雑」
　　一G「群像」
努力賞　三C「走馬燈」
　　三F「海潮音」

〈仮装〉
最優秀賞　二D「桃太郎」
優秀賞　三A「忍者ハットリ君」
　　三G「雨あがり」

今回の能高祭は、実行委員の段階での準備は早くから取りかかり遅れもなかったのだが、生徒たちにやる気が見られず、動き出すまでに時間を要した。また、HRデコは、書類審査を行ったにもかかわらず「能代高校らしさ」に欠けるものがほとんどであった。今後能高祭に対する生徒たちの態度の改善が望まれるとともに、能高生としての自覚が求められている。


雨のため体育館でのフォークダンス

正しい日本語を

部　説

「本当」に能高生は、日本に住んでいる日本人なのだろうか。と時々考えさせられる。というのも、例えばどれまでも、国語の平均点が他教科に比べて劣っていたからだ。これはひとつ男子が多く、読書の量も少ないと言われている本校だけではない。全国的に同様の様相を呈している。果たしてこのままでいいのだろうか。

その原因として次のことが考えられる。まず日常生活の中でスピード情報化の浸透により、手紙を書くよりも、電話で簡単に用を済ましてしまうことが定着しているし、格調の高い文書や、見るが眼を手伝わされたときに、知識不足で分からなかったために、親のろくなる大目玉をくらったり、いざ